



しょくいく 食育だより

No.6 2025年(令和7年)2月

みちのうえしょうがっこう えいようきょうゆ ふるや ゆきみ
道上小学校 栄養教諭 古屋 佑希実



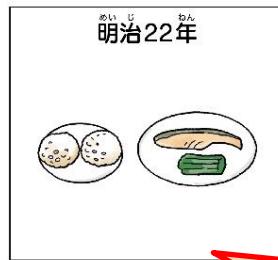
1月24日～1月30日は福山市学校給食週間でした

学校給食週間は、学校給食の歴史や役割について理解を深めようという1週間です。いつも食べている給食に目を向けて、給食の役割について考えてみましょう。

給食っていつから始まったの？



今から約135年前の明治22年です



今から約130年前の明治22年に山形県にある小学校で、おにぎり・焼き魚・漬物をふるまつたことがはじまりとされています。



戦争が終った昭和21年12月24日、外国から脱脂粉乳や缶詰などの食料が届けられ、給食が再開されました。トマトシチューーや脱脂粉乳などでした。

食べ物が簡単に手に入るようになった今、給食は栄養バランスだけでなく、行事食・外国の料理・旬など、みなさんに知ってほしいことを取り入れています。



Google Classroom配信中！ クラスコードは「5mdb4u2」です。

現在の給食



安心安全で衛生的

温度が確実に上がっている
か75°C以上1分間を確認
します。サラダなどの和え
物は、加熱した後冷却して
います。

手作り

カレーやシチューのルウは
バターと小麦粉から手作り
したり、だしを給食室で
とったりしています。

道上小学校の給食は、
地域の農家さんからも直接
野菜が届いています。



さつまいも



ねぎ



保護者の方へ

その他大根やキャベツなど



せいさんしゃ 生産者さんの
顔が分かって
安心



新鮮で
おいしい

食育だよりはホームページにも掲載しています。ぜひカラーでご覧ください。